みんなの
尼活
皆議

尼崎の未来に向けたまちづくりについて
～小田地区にお住まいのみなさまと～

令和６年10月7日、尼崎市のまちづくりについて、参加者のみなさまに説明をし、また参加者のみなさまからは、子どもたちや障害のある人に関すること、住宅施策のことなど様々な意見をいただきました。

子どもたちの交通マナー

【参加者からのご意見①】

○ 自転車利用に関して、ヘルメットを着用している子どもも少なく、道路の右側を走行している学生も散見されるので、改善に向けて取り組んで欲しい。

【現在の対応などについて】

● これまでから市内小学校、中学校、高等学校の児童生徒を対象に自転車教室を実施しており、安全な自転車利用や交通安全などについて啓発を行っています。

● 令和6年度の自転車教室ではヘルメットの着用が努力義務となっていることや自転車は原則として車道の左側を通行することを指導しています。

● 今後も、子どもたちが自転車ルールやマナーを守って自転車を利用してもらえるようあらゆる機会を捉えて自転車のルール順守の必要性などについて啓発をしていきます。

子どもたちの栄養管理

【参加者からのご意見②】

○ 近年、肥満の子や痩せた子が多くなってきていると感じている。母親に栄養に関する知識が不足しているケースもあるのでは。

【現在の対応などについて】

● 学校健診の結果、肥満度が高い受診者に対して医師が生活指導を行ったり、また小学校5年生及び中学校2年生を対象とした健診を行い、受診者の実情に応じて保健師が保健指導を行うなど、疾病の早期発見・早期治療や望ましい生活習慣の獲得につながるよう取り組んでいます。

● ほかにも、小・中学校に保健師を講師として派遣し、生活習慣病予防に関する授業などについても実施しています。

【これからの対応について】

● 中学校の生徒会（保健委員）等の活動支援や保護者への健康教育に関する出前講座の実施など児童生徒・保護者が望ましい生活習慣を理解し生活習慣病予防に取り組むことができるような支援策について検討していきます。

学力向上に向けて

【参加者からのご意見③】

○ 高等学校の学力の水準を上げるために他都市が実施しているような習い事や塾代の助成事業を導入してはどうか。

【現在の対応などについて】

● 家庭の経済的事情や学力向上に関して関心度も異なる中で、大切なのは学校教育における学力向上対策であると考えています。

● そのため、学習上のつまずきを早い段階で解消し、基礎学力が向上するよう引き続きしっかりと取り組み、市内高等学校の偏差値の向上にもつなげていきたいと考えています。

障害のある人に優しいまちづくりを

【参加者からのご意見④】

○ 停留所に車椅子の人専用スペースを設置し、待っていることを分かりやすくするなど何等かの対応をしてもらえればと思う。

【現在の対応などについて】

● 車椅子の方の待機スペースについては、利用が多く歩道幅も確保できる駅前のロータリー等の一部に設置しています。

● 一方、充分な歩道幅がないなど、スペースが確保できない場所への設置は難しいですが、車椅子の方の見落としが無いよう、バス事業者と連携しながらバス停の明るさ、見通しの確保等に取り組んでいきます。

尼崎市の住宅取得補助

【参加者からのご意見⑤】

○ 令和6年度から戸建て住宅の取得補助を実施しているが、補助対象要件である「面積要件100平米以上」について緩和できないか。

【現在の対応などについて】

● ファミリー世帯の転出超過が大きな課題となっており、2020年に転出された世帯に対して行ったアンケートでも、転出理由の一つに「住宅の広さに対する不満」が挙げられました。

● 尼崎市内の住宅は、延床面積や敷地面積が狭い住宅が多いため、ゆとりある、良質な住宅を誘導することで、より子育てしやすい住環境の形成を図ることを目的としているため、100㎡以上という要件にしています。

● こうした住宅取得支援を実施することにより、事業者の供給動向や、ファミリー世帯の行動変容に、どのような影響を与えるのかを検証し、今後の事業展開や施策構築に生かしていきたいと考えています。

みんなの
尼活
皆議

（※）参加者のみなさまのご意見や取組中（または取組予定）の事業等は、代表して一部のみを掲載しています。
この他にいただいたご意見等は、尼崎市公式ホームページに掲載の車座集会の対話録をご覧ください。